

演題名	新生子牛の皮膚に認められた多発性血管芽細胞腫の一例		
発表者 氏名	森野なつ樹	所属	伊那家畜保健衛生所
<p>平成 17 年 11 月、体表に多数の腫瘤を認めるホルスタイン雄子牛が出生。腫瘤は全身に散発し、大豆大からピンポン玉大、暗赤色で隆起し、無毛、一部は自壊していた。剖検では、皮膚以外に著変は認められなかった。組織学的に、腫瘤は類円形から紡錘形の細胞境界不明瞭な pericyte(周皮細胞)様 Stromal cell(間質細胞)の腫瘍性増殖からなり、真皮から皮下織に充実性に認められた。また、毛細血管が豊富で、拡張した血管腔、スリット状血管腔、管腔の不明瞭な血管等が認められた。腫瘍細胞は形態的、免疫組織化学的にヒトの血管芽細胞腫と同様の特徴を示し、渡銀染色結果等を踏まえ血管芽細胞腫と診断。血管芽細胞腫は、ヒトの小脳や皮膚に発生する良性の腫瘍として知られているが、獣医領域では犬の脊髄内での報告がわずかにあるのみで、本例は牛での発生例として貴重である。</p>			